

6月といえば「梅雨」。その語源としては、梅の実が熟して収穫期を迎えるからという説があるそうです。

梅干しは、おにぎりとともに日本人にとってなくてはならないソウルフードです。また、梅には殺菌作用があり、日の丸弁当は、冷蔵庫のない時代から、理にかなったものでした。食べ物が傷みやすいこの季節、梅の効用を見直してもよいかもしれませんね。

さて、食べ物が傷まないようにと、梅干しを入れるのは昔の人の知恵ですが、鉄道用材料が傷まないように（劣化しないよ

うに）するのは、簡単なことではありません。新しい材料を鉄道へ応用する場合には、その材料が持つ機能やメリットとともに、寿命や取り換え周期、その方法や容易さを念頭におく必要があります。

今月号では、車両部品・施設構造物に対して、高機能化やより長くその機能を維持するための新しい材料技術を中心に紹介しました。次号の特集は、「環境と調和した鉄道を目指して」です。省エネや鉄道沿線の環境との調和を目指した技術について紹介します。どうぞご期待ください。(S.H.)